



# 京都府教育委員会からの挑戦状



中学生の皆さんへ

「京都府教育委員会からの挑戦状」にようこそ。皆さんは、「普段の教科の授業が何に役立つんだろう…？」って感じたことはありませんか？もしかすると、授業の内容が何に役立つかがわかれば、もっと勉強が好きになれるかもしれません。

実は教科の学習は、皆さんの今の生活や将来の生活に大きく関わっています。そこで、教科の学習が皆さんの生活に役立っている例を基に「挑戦状」として、その課題をみなさんに投げかけることにしました。

## レベル（難易度）の目安

ここにある課題は★☆☆☆～★★★★の4段階に分かれています。

- ★☆☆☆ … 苦手な人や基礎から学びたい人
- ★★☆☆ … 普段の授業の「めあて」のレベル
- ★★★☆☆ … その単元の目標到達点(その単元の★★☆☆を合わせて考える課題)
- ★★★★ … その単元で学んだ内容を生活や社会に活かせる場面の課題(課題解決型)



特に、★★★☆☆や★★★★には、答えが1つに決まらない問いがたくさんあります。皆さんが社会に出た時に遭遇する課題は、正解が必ずしも1つではなく、より良い選択は何かを考えていくことになります。そのような課題に取り組むことを『課題解決型学習』と言います。そのような課題には、例えば街のデータは数学、天気などは理科、地域の特徴は社会、まとめたり伝えたりは国語や英語というように、様々な学びが繋がっています。皆さんがそれぞれの学びのやり方に合わせて課題の解決を目指してください。

★★★★の問いに対しては、考えたことが本当に良い選択なのかどうか、不安になることもあるでしょう。もともと、答えが1つに決まらない問いなので、不安になることはないのですが、次のようなステップを踏むとわかりやすくなるかもしれません。

もし、つまずいたら、繰り返し基に戻ってやってみたり、「課題解決の地図」等も参考にしてみましょう。実は、この考え方は皆さんが大人になった時も使える思考方法なのです。

**是非、挑戦してみてください！！**



## 課題解決の地図

～課題を解決するための手段～



- ①情報収集 … 課題を解決するのに必要な情報を調べたり聞いたりして集める
- ②課題分析 … なぜその問題が起きているのかを考えて原因を追究する
- ③仮説構築 … 解決のアイデアを考えまとめていく
- ④検証 … アイデアが解決策として最善かどうかを色々な角度から確かめる
- ⑤アウトプット … まとめて伝える（発表だけでなく文章などの方法もある）

